

上田地域（上田市、東御市、長和町、青木村）

【上田地域の特性】

- スポーツ合宿の菅平高原・湯の丸高原、上田城跡、海野宿などの歴史的文化的財、別所温泉等の魅力的な観光資源がコンパクトに集積しています。
- 晴天率の高い気候条件と標高差を生かした高原野菜やぶどうの産地であり、カラマツを主体とした林業・木材産業も活発なほか、近年はワイナリーの集積が進み、良質なワイン産地として知名度が高まっています。
- 製造業が多く集積し、地域経済を牽引しており、地元的高等教育機関と浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）等による産学官の連携も進んでいます。
- 高速交通網により首都圏や北陸方面へのアクセスが良く、長野、松本、諏訪、佐久を結ぶ交通の要衝であり、他地域との更なる人流・物流の活性化につながる広域的な道路網などの整備が進んでいます。



上田市

- 人口15万人を擁する県東部の中核都市。北陸新幹線上田駅や上信越自動車道上田菅平ICを有する交通の要衝
- 夏がさわやかな気候の菅平高原はスポーツ合宿の聖地
- 少雨多照の気候を活かした農業が盛ん。輸送関連機器や精密電気機器等の製造業が地域経済を牽引
- レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」信州上田・塩田平をめぐるストーリーが日本遺産に認定

管内の概況



青木村

- 夫神岳、子権嶺岳、十観山の「青木三山」が村のシンボル
- 村をあげて郷土の偉人五島慶太や、義民精神を顕彰
- 「タチアカネ」そばは村オリジナルブランド
- 国道143号青木峠トンネル開通後を見据えた村づくりが進展

長和町

- 上田・松本・諏訪・佐久を結ぶ交通の要衝
- 豊富な森林資源を活用した木材産業に強み
- 旧中山道の長久保宿・和田宿は歴史を感じる名所・旧跡
- 黒耀石原産地遺跡等をめぐるストーリーが日本遺産に認定

東御市

- 旧北国街道海野宿は江戸時代の面影を残した観光の要所
- 「湯の丸高原」に整備された高地トレーニング施設はオリンピック選手も利用
- 「信濃くるみ」は全国一の生産地。巨峰・シャインマスカット等の果樹生産が盛ん
- ワイナリーが集積した国内有数のワイン産地

千曲川ワインバレー

- 千曲川の流域に広がるワインの産地
- 降水量が少なく日照時間が長い気候と、水はけの良い土壌の質が、欧州系品種のワイン用ぶどうの栽培に向く
- 近年、個人ワイナリーが増加。中堅ワイナリーでは新規参入の希望者に向けた活動を積極的に展開
- 全国的に知名度の高いワイン産地に成長

★長野県総合5か年計画★

しあわせ信州創造プラン3.0

～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

上田地域計画の概要

概ね2035年の上田地域の将来像を展望し、これを実現するための5年間(2023～2027年度)の行動計画です



上田城跡(上田市)



旧北国街道海野宿(東御市)



日本遺産を構成する
生島足島神社(上田市)

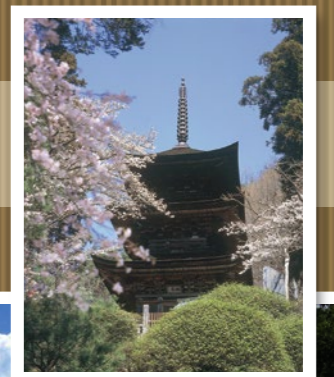


ワイン用ぶどう畑とワイナリー(東御市)

多彩な魅力で
人を惹きつけ、
暮らしやすさを実感し、
脱炭素社会を
リードする上田地域



旧中山道和田宿(長和町)



国宝大法寺三重塔(青木村)



美ヶ原高原の満天の星空(長和町)



タチアカネそば畑(青木村)

計画詳細は
こちら→



長野県上田地域振興局 企画振興課

〒386-8555 長野県上田市材木町1-2-6 TEL.0268-25-7112 FAX.0268-25-7115
E-mail: uedachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

長野県上田地域振興局

1 上田地域の魅力の向上と 発信による人を惹き つける観光地域づくり



地域の歴史や自然環境などの観光資源やスポーツ合宿の適地としての特色を発信し、観光客に選ばれる、魅力ある観光地域づくりを進めます。

地域と一体となった観光需要の回復

- 菅平高原の施設や湯の丸高原の高地トレーニング施設を活用した観光地域づくりの取組を推進
- 温泉地や高原、ワイン、サイクリングなどを活用した広域的な観光誘客を推進
- 日本遺産、稲倉の棚田、千曲川ワインバレーなど、地域の資源を活かした観光コンテンツづくりを支援
- インバウンド向け観光誘客の取組を支援

観光地の魅力を高めるインフラの整備

- 菅平高原や湯の丸高原などスポーツ合宿地の魅力を高めるインフラ整備を推進
- 公共交通を利用した移動環境の整備を促進

達成目標

指標名	現状	目標
観光地延利用者数 観光地利用者統計調査 (観光部)	409万人 (2021年)	725万人 (2027年)
観光地消費額 観光地利用者統計調査 (観光部)	71億円 (2021年)	147億円 (2027年)

2 地域を支える 産業の グレードアップ



地域を支える産業の底上げや新産業の創出のほか、ワイン産業などを基幹産業として育成します。また、地域の産業人材の育成・確保等に取り組みます。

持続可能な産業の実現に向けた取組

- 農業・医療等の成長期待分野への参入促進、産業人材の育成・確保の取組を支援
- 農業の担い手確保、スマート農業の導入、農産物の地産地消を推進
- 林業の担い手確保、県産材の利用促進、持続的な森林経営を目指す「にぎやかな森プロジェクト」を推進
- 地域の高等教育機関の連携による産業人材の育成・確保等の取組を支援

世界基準を見据えたワイン産地づくり

- ワイン用ぶどうの安定生産と高品質化を推進
- ワイン文化の創出、ブランド化による消費拡大と情報発信、ワインを活かした観光・交流施策を推進

達成目標

指標名	現状	目標
製造品出荷額等 経済センサス-活動調査 (総務省・経済産業省)	6,092億円 (2020年)	2020年比 +2.5% (2025年)
醸造用ぶどう収穫量 特産果樹生産動態等調査 (農林水産省)	281t (2021年度)	1,200t (2027年度)

3 穏やかに 暮らし続けられる 地域づくり



道路網や医療・福祉、地域公共交通など地域の生活基盤の充実を図ります。また、県外からの移住を促進します。

道路網の整備、地域公共交通の充実、 防災・減災の推進

- 中部横断自動車道や上信自動車道の整備促進、国道143号青木峠トンネルや道の駅の整備推進
- 官民連携の取組により地域公共交通を充実
- 防災施設や河川の護岸などの計画的な整備
- 地域住民組織の主体的な活動を支援

医療・福祉の充実、健康づくりの推進、 子育て・子育て支援

- 市町村等と連携して医療人材を確保、救急医療体制の整備促進、福祉サービス向上支援
- 住民の主体的な健康づくりの取組を促進
- 市町村等と連携し、子どもを産み、育てやすい環境整備を推進

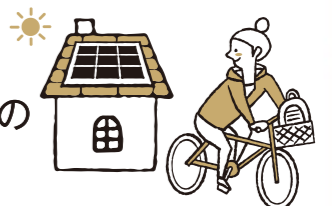
移住の促進、つながり人口の創出・拡大

- 移住者視点で上田地域に住む魅力の情報発信を充実
- 「つながり人口」を創出・拡大する市町村等の取組を支援

達成目標

指標名	現状	目標
移住者数 (企画振興部調)	230人 (2021年度)	340人 (2027年度)

4 持続可能な 脱炭素社会の 地域づくり



自然条件を活かした屋根太陽光をはじめ、多様な再生可能エネルギーが普及・拡大する先進的な地域を目指し、脱炭素社会への変革を推進します。

持続可能な脱炭素社会に向けた取組 の推進

- 屋根太陽光やバイオマス発電など、多様な再生可能エネルギーの普及・拡大を促進
- 省エネ性能の高い設備や機器の導入を支援
- 地域産木材の積極的な利用と次世代森林の育成を促進
- コンパクトなまちづくりを推進するため、地域公共交通の利便性向上や、新たな交通手段の導入を支援
- ゼロカーボン社会共創プラットフォーム(くらしふと信州)などを利用してゼロカーボンの学びを促し、自分ごととして取り組む意識を醸成

達成目標

指標名	現状	目標
住宅太陽光発電 設置件数(累計) 再生可能エネルギー電気の利用の 促進に関する特別措置法情報 公表用ウェブサイト(経済産業省)	5,755件 (2021年度)	10,300件 (2027年度)
民有林における 造林面積 (林務部調)	34.3ha (2021年度)	60ha (2027年度)